



みつは

笠間市立友部中学校
学校だより 第28号
令和6年9月11日(水)

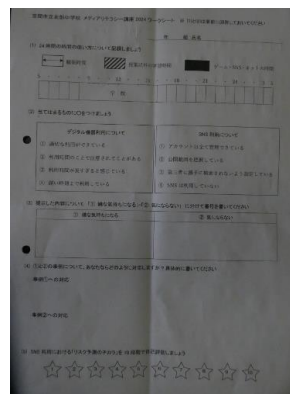
市内一斉オンライン道德



9日(月)の1時間目市内小中義務教育学校で市教育委員会主催のオンライン道德の授業がありました。講師は三阪 洋行さん。事故で頸椎を損傷し入院中に車いすラグビーと出会い、パラリンピックに3大会連続出場。引退後は日本代表アシスタントコーチとしてメダル獲得に貢献をしました。授業では、人と考え方

や得意なことが違うことは当たり前である。お互いに違いを認め合って生きていくことが大切である。それが、相手を〇〇だと決めつけてみたり違った思い込みをしたりすることで関係がうまくいかないことがある。そのために相手の話を聞く。どうしたら話し合うことができるか考えることが大事であるとお話がありました。

メディア教育講習会の開催



9日(月)にメディア教育講演会を全校生徒対象に体育館で行いました。講師は、茨城県メディア教育指導員の鈴木さんです。内容は「ネット上からのトラブルから身を守る」～スマホ、インターネット被害とその予防～でした。話を聞くだけでなく、ワークシートが準備され一緒に考え、回答する講演で生徒たちも熱心に聴き、自分事として取り組んでいました。リテラシー(知識や能力を活用する力を育てていくこと)を育てていくこと。そのために、判断力、自制力、責任力、相談力を身につけること。そして、ネット以外の体験やネットでの失敗を含む体験、知識と意識をアップデートすることが大切であるとまとめがありました。

生徒会役員選挙 立候補者によるあいさつ運動



生徒会立候補者とその責任者によるあいさつ運動が自転車置き場から昇降口までの間で行われています。全員、で元気な声であいさつをすることができ、その声は校舎に響き渡っています。最近、友中生のあいさつが小さいという地域の方からの声があります。今年度、3あっぷ(あいさつ、あとしまつ。ありがとう)を大切にしようと呼びかけております。まずは元気なあいさつができる友中生になってほしいです。